

我が団の新アクションプラン

～新規加盟員を増やし、中途退団をなくそう～

活 用 例

平成〇〇年〇〇月

日本ボーイスカウト〇〇県連盟

〇 〇 第 〇 団

新アクションプランの活用にあたって

本書は、別紙「新アクションプラン」をもとにある団が具体的に取り組んでいる例です。

これを下敷きにしてあなたの団・隊のアクションプランを作って是非実践してください。

かわいい子どもたちが、幸せに育ってくれることを願わない保護者はいないでしょう。また、明日を担う青少年の健やかな成長を願わない大人はいないでしょう。

このような願いに賛同し「より良いスカウティングを より多くの青少年に！」をスローガンに掲げ、私たちはスカウト運動を推進しております。

日本の人口は1億2千7百万人、スカウト人口19万人、すなわち、1,000人に1.5人しかおりません。加えて20数年来の減少傾向に歯止めをかけることができません。

平成17年度日本連盟の加盟員数は188,620人で前年度比-7,930人、昨年20万人を切ったと思ったら1年で19万人を切ってしまいました。団数も57個団の減です。

1個団あたりでは、3人の減です。すなわち、8人入って11人辞めていく状態です。これまでは2人の減でした。

おおよそ全国第9位の県連盟が、毎年無くなっていく状況です。

これでは社会の期待に応えているとはいえない状況です。

どうしたら良いか、答は簡単です。新規加盟員を増やし、中途退団者をできるだけ少なくすることです。

しかし、具体的にどうするか、これまでも多くの対策が打ち出され、それぞれ努力をしてきましたが、厳しい状況を脱することができません。

要はいかに実行に移すかです。一つの目的をもった組織または団体で、そのメンバーが自らの組織または団体の成長発展を願わないものはありません。

本書に示しましたのは、隊や団で取り組む一例です。他にも各隊や団で取り組んでいることや取り組もうとしていることがたくさんあると思います。

それらも加えていただき、各隊や各団で是非実践してください。そして、県連盟や地区は支援をしてください。

本書利用にあたって、電子データの場合、実施項目の右側の小さな欄をクリックしますと以下のチェックマークが出ますので活用願います。

◎：よくできている ○：できている △：予定中 ▼：今後の課題 ×：その他

ボーイスカウト日本連盟スカウト運動推進委員会

加盟員数拡大のためのアクションプラン（隊指導者用）

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン（隊指導者用1/2）							
			隊指導者が実施すること							
			No.	スカウトを指導すること	No.	保護者に実施してもらうこと	No.	隊指導者が実施すること	No.	我が団の隊指導者が実施すること
I ・ スカウト ・ 保護者への直接的支援	1	① スカウト教育法の活用	1	「ちかいいおきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の意味を正しく知り、実践する	1	「ちかいいおきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の意味を正しく知り、子どもが実践するように仕向ける	1	「ちかいいおきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の意味を正しく指導し、実践させる	1	・隊長挨拶に必ず実践を促すことを含める。 ・月間テーマの一つ入れる。 ・班会議等で実践結果について話し合う。
			2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行に努める	2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行に努めるように仕向ける	2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行に努めさせる	2	・隊長挨拶に必ず実践を促すことを含める。 ・月間テーマの一つ入れる。 ・班会議等で実践結果について話し合う。
			3	積極的に班(組)活動を行うか、または、参加して自分の役目を果たす	3	積極的に班(組)活動に参加するように勧める	3	班制教育を実施する。班長(組長)の活用をいつも心がける	3	・班任務章を活用する。 ・班ノートを活用する。
			4	班や組で、みんなのやりたいことを出し合い、隊長に報告する	4	子どもが、自分のやりたいことを、班や組で出しているか確認する。 (やりたいことを積極的に出すように促す)	4	班や組で、みんなのやりたいことを出し合い、隊長に報告させる 班や組から出たやりたいことを、集会で実現する	4	・班や組で、みんなのやりたいことを出し合い、隊長に報告させ、集会でできるだけ実現する。
			5	班や組の仲間との活動を大切にする	5	班や組の仲間との活動を大切にするよう留意する	5	班や組の仲間との活動を大切にするよう指導する	5	・チームゲームを行ったときなどをとらえて指導する。
			6	班や組の会議で自分の意見をはっきり言う	6	自分の意見をはっきり言うように日頃留意する	6	自分の意見をはっきり言えるように指導する	6	・特に口の重いスカウトに留意する。
			7	進歩課目に進んで挑戦する	7	進歩課目への挑戦に関心を持ち、バッジ等が伝達されるときは同席する	7	進歩制度を忠実に実施する	7	・進級者を皆の前で褒めてあげる。保護者にも出席してもらう。
			8	冒険活動等に進んで参加する	8	冒険活動等に進んで参加するよう励ます	8	魅力的で、大きな達成感のあるような冒険活動等を自然の中で展開する	8	・何カ月に一度は計画に入れるようにする。
			9	団のスカウトが全員参加しての行事に参加する	9	団のスカウトが全員参加しての行事に保護者として参加する	9	団のスカウトが全員参加しての行事を企画する	9	・団のスカウトが全員参加しての行事を企画するよう団会議に提案する。
			10	集会や活動には、家から制服を着て参加する	10	集会や活動には、家から制服を着て参加するようにさせる	10	集会や活動には、家から制服を着て参加するよう指導する	10	・集会や活動には、家から制服を着て参加するよう絶えず話し、着て来ないスカウトには特別指導する。

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン (隊指導者用2/2)							
			隊指導者が実施すること		我が団の隊指導者が実施すること					
			No.	スカウトを指導すること	No.	保護者に実施してもらうこと	No.	隊指導者が実施すること	No.	我が団の隊指導者が実施すること
I ・ スカウト ・ スカウト ・ 保護者への直接的支援	1	② 隊の運営	1	友だちが1回でも休んだら次のときに誘う	1	子どもが1回でも休んだら次のときは休まないよう注意する	1	スカウトが1回でも休んだら次のときは誘うよう班長(組長)にいう	1	スカウトが1回でも休んだら次のときは誘うよう班長(組長)にいう。
			2	休みがちなスカウトのことにについて班(組)で話し合う	2	子どもが休みがちになったらよく話し合い、隊長に相談する	2	休みがちなスカウトに連絡をとり、相談にのる	2	休みがちなスカウトに連絡をとり、相談にのる。
			3	やめたいというスカウトがいたら、班長や仲の良い友だちがよく話をきいてあげる	3	子どもがやめたいといったらよく話し合い、隊長に相談する	3	やめたいというスカウトと保護者については、早めに丁寧に相談にのる	3	やめたいというスカウトと保護者については、早めに丁寧に相談にのる。
			4	班や組、隊の集会や活動に参加をする	4	集会や活動の日が近づいたら、子どもに注意を喚起する	4	班や組、隊の集会や活動はできるだけ定例的に開催する。予定を早めにスカウトや保護者に知らせる	4	・年間計画に織り込み、総会資料に載せる。また、隊の新聞や通報で知らせる。
			5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加する	5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加するように勧める	5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加するように予定を組む	5	・ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加するように予定を組む。
			6	海外派遣、ジャンボリー等の参加を一つの目標にする	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報に関心を持つ	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報を前広にスカウトや保護者にきちんと伝える	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報を前広にスカウトや保護者にきちんと伝える。
			7	班(組)や隊の集会や活動の予定を早めに知って計画に入れる	7	班(組)や隊の集会や活動予定に注意しスカウトに喚起する	7	定期的に班(組)や隊の集会や活動の予定を早めにスカウト・保護者に知らせる	7	・年間計画に織り込み、総会資料に載せる。また、隊の新聞や通報で知らせる。

加盟員数拡大のためのアクションプラン（団委員長用）

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン（団委員長用 1/2）							
			隊指導者が実施すること		団委員長が実施すること		我が団の団委員長が実施すること			
			No.	スカウトを指導すること	No.	保護者に実施してもらうこと	No.	団委員長が実施すること	No.	我が団の団委員長が実施すること
I・スカウト・保護者への直接的支援	スカウト教育の活用	①	1	「ちかい・おきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の意味を正しく知り、実践する	1	「ちかい・おきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の意味を正しく知り、子どもが実践するように仕向ける	1	「ちかい・おきて」、「やくそく・さだめ」、「やくそく・きまり」の実践・指導に留意する	1	スカウトと同じ行動規範を共有する。 ・スカウトの中で飲酒・喫煙しない。 ・自ら環境に配慮した行動を示す。
			2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行に努める	2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行に努めるように仕向ける	2	そなえよつねに、いつも元気、なかよし、日日の善行の指導に留意する	2	模範を示す行動を率先して行う。 ・激しい言動を慎む。 ・挨拶や礼儀を率先して行う。
			3	積極的に班（組）活動を行うか、または、参加して自分の役目を果たす	3	積極的に班（組）活動に参加するように勧める	3	班制教育を実施しているか時に確認する	3	指導者とスカウトとの認識を一致させる。 ・集会の行動目的、進行状況、報告などについて必要なアドバイスを与えているか。 ・集会への見学・参加を励行する。
			4	班や組で、みんなのやりたいことを出し合い、隊長に報告する	4	子どもが、自分のやりたいことを、班や組で出しているか確認する。 (やりたいことを積極的に出すように促す)	4	班や組で、みんなのやりたいことを出し合い、隊長に報告させるようにしているか留意する	4	日頃からの意見交換、問題点の洗い出し、などについて指導者と共通した認識を持つ。 ・集会ごとにテーマを決め、皆から意見を出し合う訓練。 ・話し合いの中で司会進行役、提言役、記録などの役割分担をする訓練。
			5	班や組の仲間との活動を大切にす	5	班や組の仲間との活動を大切にすよう留意する	5	班や組の仲間との活動を大切にすよう指導しているか留意する	5	大人としての経験談を混ぜながら状況の確認を見守る。 ・リーダーシップの発揮、仲間意識を向上させているか。 ・スカウトの特性を指導者にアドバイスする。
			6	班や組の会議で自分の意見をはっきり言う	6	自分の意見をはっきり言うように日頃留意する	6	一人ひとりのスカウトのニーズを受けとめ活動に反映させているか留意する	6	指導者がスカウト個々の能力を把握し、適切な指導をしているか、援助が必要か。 ・個々のスカウトが何ができて、できていないか。 ・指導者の指導方法が最善であるか、援助は必要か。 ・スカウトのニーズに対して、指導者が解決策を認識しているか。
			7	進歩課目に進んで挑戦する	7	進歩課目への挑戦に関心を持ち、バッジ等が伝達されるときは同席する	7	団面接の実施、バッジの授与等はきちんとタイミングよく行う	7	年間プログラムの中で、それぞれの指導計画が適切に立案されているか隊との調整が必要。 ・指導の進捗状況、スカウト個々の目標の達成状況を把握する。 ・指導・バッジの授与は保護者にも理解・参加を求める。 ・スカウトに求めるステップを保護者にも伝える。
			8	冒険活動等に進んで参加する	8	冒険活動等に進んで参加するよう励ます	8	魅力的で、大きな達成感のあるような冒険活動等の実施に、隊指導者から要請があれば協力する	8	指導者と団委員の役割を十分に認識する。 ・経験を生かし盛り上がるよう提言する。
			9	団のスカウトが全員参加しての行事に参加する	9	団のスカウトが全員参加しての行事に保護者として参加する	9	団のスカウトが全員参加しての行事を行う	9	年間プログラムの中で各隊との調整を図る。 ・団の各隊、保護者・育成会関係者、団委員すべてが参加できる企画の立案。 ・企画・実施に当たってベンチャーやローパーを活用する。
			10	集会や活動には、家から制服を着て参加する	10	集会や活動には、家から制服を着て参加するようにさせる	10	集会や活動には、家から制服を着て参加しているか留意する	10	団委員自らがスカウト活動に関わる場合は、常に着用を励行するなどその姿を見せる。

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン (団委員用2/2)							
			隊指導者が実施すること		団委員が実施すること					
			No.	スカウトを指導すること	No.	保護者に実施してもらうこと	No.	我が団の団委員が実施すること	No.	我が団の団委員が実施すること
I ・ スカウト ・ 保護者への直接的支援	1	② 隊の運営	1	友だちが1回でも休んだら次のときに勝つ	1	子どもが1回でも休んだら次のときは休まないよう注意する	1	団会議で隊長にスカウトの出欠に絶えず注意を払うよう話す	1	団会議で隊長にスカウトの出欠状況の報告を求める。
			2	休みがちなスカウトのことについて班(組)で話し合う	2	子どもが休みがちになったらよく話し合い、隊長に相談する	2	団会議で隊集会・班(組)集会の出欠状況を報告してもらう	2	団会議で隊集会・班(組)集会の出欠状況を報告してもらう。
			3	やめたいというスカウトがいたら、班長や仲の良い友だちがよく話をきいてあげる	3	子どもがやめたいといったらよく話し合い、隊長に相談する	3	やめたいという保護者については、隊長に協力し早めに丁寧に相談にのる	3	やめたいという保護者がいたら直ぐに隊長に報告するよう求める。
			4	班や組、隊の集会や活動に参加をする	4	集会や活動の日が近づいたら、子どもに注意を喚起する	4	団会議で各隊の予定を発表してもらう	4	団会議で各隊の予定を発表してもらう。
			5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加する	5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加するように勧める	5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ積極的に参加するようにする	5	ジャンボリーや大会など日連や県連・地区等の各種行事へ団委員自ら積極的に参加するようにする。
			6	海外派遣、ジャンボリー等の参加を一つの目標にする	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報に関心を持つ	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報をスカウトや保護者にきちんと伝えるよう隊指導者にいう、また、財政的支援を検討する	6	海外派遣、ジャンボリー等の情報をスカウトや保護者にきちんと伝えるよう隊指導者にいう、また、財政的支援を検討する。
			7	班(組)や隊の集会や活動の予定を早めに知って計画に入れる	7	班(組)や隊の集会や活動予定に注意しスカウトに喚起する	7	団会議で各隊の予定を発表してもらう	7	団会議で各隊の予定を発表してもらう。

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			隊指導者が実施すること		我が団の団委員が実施すること			
			No.	保護者に実施してもらうこと	No.	団委員が実施すること	No.	
I・スカウト・保護者への直接的支援	1 スカウトの教育	③ 保護者との連携	1	スカウト運動の趣旨をよく理解する	1	保護者にスカウト運動の趣旨をわかり易く繰り返し伝える	1	年2回以上保護者を集めて団委員がスカウト運動の趣旨をわかり易く説明する。日連の普及資料やQ&Aを使用する。
			2	定期的開催される保護者会に出席する	2	保護者会に出席する	2	団委員の年間スケジュールを決めて保護者会に出席する。
			3	団報や隊報(お知らせ)を読む 団のホームページがある場合はそれを開いて見る	3	団報(お知らせ)を発行する。できればホームページを開設する	3	団新聞の作成チームを編成する。編集者持ち回り6人で発行する。「出すことに意義あり」という認識で内容はまずは聞かない。HPの担当をスカウトや保護者に働きかける。各隊の担当者を決めて定期的にメンテ。
			4	地区・県連盟・日本連盟や世界スカウト運動の情報を聞く (地区・県連盟、日本連盟のHPを開いてみる)	4	保護者に地区・県連盟・日本連盟や世界スカウト運動の情報を知らせる (これらのHPを開いてみるようお願いします)	4	各保護者のメールにURLを届ける。団新聞に地区・県連盟・日本連盟のURLを掲載する。「スカウトちば」の紹介。
			5	求められれば団委員となって協力する	5	保護者代表の団委員を選出する(各隊より)	5	保護者代表の団委員を選出(各隊より)し、総会で任命する。
			6	キャンポリーやジャンポリー等各種行事の見学会に参加する	6	キャンポリーやジャンポリー等各種行事の見学会を開催する	6	キャンポリーやジャンポリー等各種行事の見学会ができるよう団として長期の計画を立て積み立てる。
			7	担任にわが子がボーイスカウトに加入し活動していることを話しスカウト活動を理解してもらう	7	定期的に学校訪問を行い、スカウト運動を正しく理解してもらう	7	団委員が学校長に面会し趣旨を説明し、担任にも理解していただく。
			8	隊指導者と連絡をとり、スカウト活動の側面的な協力をする	8	保護者に対し、隊指導者の活動に側面的な協力をするようお願いする	8	保護者に対し、資材や車等の提供をしていただく。隊の保護者会に出席し隊長の依頼事項を説明する。保護者への文書は団委員長・育成会長の名前で発行。
			9	自分の特技などを隊指導者に知らせて、隊集会や進歩記章取得などに協力する	9	保護者の特技などを隊指導者に知らせて、隊集会や進歩記章取得などに協力してもらうようにいう	9	入隊時に保護者の職業や趣味などを聞きだす。技能章審査員に委嘱する。
			10	スカウトの予定と家庭の予定等を調整し、スカウト活動に参加しやすい環境をつくる	10	保護者にスカウトの予定と家庭の予定等を調整し、スカウト活動に参加しやすい環境をつくるようお願いする	10	総会の時に団委員長が主旨を説明する。
			11	入隊、上進、進級などの式典へ進んで参加する	11	入隊、上進、進級などの式典への参加を求める	11	入隊式、上進式を総会時に行う。
			12	指導者講習会へ参加する	12	指導者講習会への参加を呼びかける	12	入団説明会時に指導者講習会への参加を必須のことで理解してもらう。担当団委員が情報提供する。費用は団負担。
			13	隊や団行事への参加や手伝いをする 求められれば指導者となって協力する	13	保護者に隊や団行事への参加や手伝いをお願いする。適任そうであれば指導者をお願いする	13	保護者に隊や団行事への参加や手伝いを要請し、顔を出し易い状況にする。何を願うのか具体的に。安全、火の番、整備等の役割を事前に依頼し腕章を渡す。
			14	学校のPTA等の役員や、地域での役員になり、機会を捉えてスカウト運動をPRする	14	学校のPTA等の役員や、地域での役員になり、機会を捉えてスカウト運動をPRするようお願いする	14	団委員に学校のPTA等の役員や、地域での役員が居れば、団と協力して説明の機会をもつ。

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			No.	隊指導者が実施すること	No.	団委員が実施すること	No.	我が団の団委員が実施すること
II ・ スカウト ・ 保護者 への 間接的 支援	2 隊 ・ 団 の 運 営 と 管 理	① 指 導 者 の 心 構 え	1	「ちかい」と「おきて」を隊指導者が自ら実践する	1	「ちかい」と「おきて」を理解し、団委員が自ら実践する	1	団委員会で「おきて」の確認をする
			2	常にB-Pの精神や最新の教育方法について学び、自部門の活動の目標を絶えず念頭に置き、スカウトに反映する	2	常にB-Pの精神や最新の教育方法について学び、自部門の活動の目標を絶えず念頭に置き、スカウトに反映できるよう支援する	2	各部門の活動の目標を理解し、隊運営を支援する
			3	指導者の都合や対面を優先しないでいつもスカウト中心に考えて、スカウト運動の基本を隊に確立する	3	団委員の都合や対面を優先しないでいつもスカウト中心に考えて、スカウト運動の基本を隊に確立しようとする指導者を支援する	3	いつもスカウト中心に考えて、スカウト運動の基本を隊に確立しようとする指導者を支援する
			4	スカウトや他の指導者たちとの間によい人間関係を築いていく	4	スカウトや他の指導者たちとの間によい人間関係を築いていこうとする指導者を支援する	4	団委員自らがよい人間関係を築いていく
			5	リーダーシップの技能を培うとともに、リーダーシップを発揮する機会を与える	5	リーダーシップの技能を培うとともに、リーダーシップを発揮する機会を与えるよう支援する	5	隊指導者の励ましの機会を作る
			6	地域にある物や組織、あるいは保護者を含めた多くの大人たちを十分に活用する	6	地域にある物や組織、あるいは保護者を含めた多くの大人たちを十分に活用する	6	育成会や保護者会を通じて公民館、学校とのパイプ作りをする
			7	指導者としてのやりがいや経験を楽しむ	7	団委員としてのやりがいや経験を楽しむ	7	団委員としても楽しいスカウティングをする
			8	地区・県連盟・日本連盟の情報に注意し、世界のスカウト運動の動向に関心を持つ	8	地区・県連盟・日本連盟の情報に注意し、世界のスカウト運動の動向に関心を持つ	8	地区・県連盟・日本連盟のHPに注意し、世界のスカウト運動の動向に関心を持つ
		② 指 導 者 の 養 成	1	地域社会から信頼される指導者になる	1	地域社会から信頼される指導者になるよう支援する	1	地域社会に積極的に出ていくようにする
			2	次の隊長や副長を養成する	2	次の隊長や副長となる指導者の発掘・養成・確保等に努める	2	保護者とのコミュニケーションを密にする
3	指導者間の役割分担を明確にする		3	指導者間の役割分担を明確にするよう求める	3	団会議を定例化し充実を図る		
4	最低限WB研修所の当該課程を修了する		4	最低限WB研修所の当該課程を修了するよう支援すると同時に自ら団運営研修所を修了する	4	自ら団運営研修所を修了する		
5	地区のラウンドテーブル・定形外訓練等に参加する		5	地区のラウンドテーブル・定形外訓練等へ参加するよう支援する	5	地区のラウンドテーブル・定形外訓練等へ参加するよう要請する		

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン						
			No.	隊指導者が実施すること	No.	団委員が実施すること	No.	我が団の団委員が実施すること	
II ・ スカウト ・ 保護者への 間接的支援	2 隊 ・ 団 の 運 営 と 管 理	② 指 導 者 の 養 成 (つづき)	6	団において外部等から講師を招いた学習会に参加をする	6	団において外部等から講師を招き、学習する機会を設ける	6	団において団担当コミッショナーを招き、学習する機会を設ける	
			7	団会議は指導者養成の場として活用する	7	団委員長は団会議を指導者養成の場として活用できるようにする	7	団委員長は団会議に講師を招いてスキルアップするようにする	
8	機関誌(スカウティング誌)の購読や、県連盟・日本連盟・世界スカウト機構のホームページを見て最新の情報を共有する		8	機関誌(スカウティング誌)の購読について配慮する	8	機関誌(スカウティング誌)の購読について指導者にPRする			
9	地区・県連盟行事、ジャンボリー等に余力を生み出して奉仕する (原隊の活動を損なわない範囲で)		9	地区・県連盟行事、ジャンボリー等への奉仕を呼び掛ける 参加スカウトが魅力を感じる行事となるよう努力を要請する	9	早期に情報提供し参加をしやすいよう環境を作る			
10	できるだけ多くの人材を活用しよう心がけ、日頃から人材に関する情報を収集する		10	できるだけ多くの人材を活用しよう心がけ、日頃から人材の発掘に心がける	10	できるだけ多くの人材を活用しよう心がけ、日頃から人材の発掘に心がける			
11	地域社会・他団体との連携を深め、指導者を探す		11	地域社会・他団体との連携を深め、指導者を確保するよう務める	11	地域社会の行事や学校行事に参加し、指導者を確保するよう務める			
12	インストラクターの活用を積極的に進める		12	インストラクターの活用を積極的に進めるよう支援する	12	保護者のスキルマップを作りその活用を積極的に進めるようにする			
			③ 安 全 管 理	1	活動時の危機管理や緊急時の対応を確立する	1	危機管理や緊急時の対応を確立するよう隊に求めるとともに団としても整える	1	団としての危機管理マニュアルを作る
				2	活動に安全教育の視点を入れる	2	スカウト・指導者の安全管理に努め、緊急時の対応を明確にする	2	団としての危機管理マニュアルを作る
				3	青少年の置かれている社会環境や、少年非行・犯罪等の現代の問題を把握しておく	3	青少年の置かれている社会環境や少年非行・犯罪等の現代の問題等の情報を収集し団会議等に反映する	3	団内の地域情報を収集し、団会議で周知徹底する
				4	傷害保険・共済等に参加するよう団に働きかける	4	傷害保険・共済等に参加する。 特に追加登録者に注意を払う	4	傷害保険・共済等に参加する。 特に追加登録者に注意を払う

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			No.	隊指導者が実施すること	No.	団委員が実施すること	No.	我が団の団委員が実施すること
Ⅱ ・ ス カ ウ ト ・ 団 の 保 護 者 へ の 間 接 的 支 援	2 隊 ・ 団 の 運 営 と 管 理	④ 隊 ・ 団 の 運 営	1	隊長・副長は団会議に出席する	1	定期的に団会議を開催する	1	準備案内をする人を決めておく
			2	団会議で各隊の連絡調整をきちんと図る	2	団会議で各隊の連絡調整をきちんと図る	2	各隊から報告・依頼文書等を出してもらう。議事録を団委員が作成配布する。
			3	団会議は各隊の相互協力の場として活用する	3	団会議は各隊の相互協力の場として活用できるようにする	3	各隊から報告・依頼文書等を出してもらう。議事録を団委員が作成配布する。
			4	団会議でスカウトの上進が円滑に行われるように取り組む	4	団会議でスカウトの上進が円滑に行われるように取り組む	4	進歩担当団委員が資料作成し、日頃話し合う
			5	上級の隊の見学や合同活動を行い、スカウトに上進意欲が湧くよう計画する	5	上級の隊の見学や合同活動を行い、スカウトに上進意欲が湧くよう計画することを求める	5	上級の隊の隊長が隊活動時に訪問し、スカウトに上進意欲が湧くよう説明することを求める
			6	各隊の計画を団委員にも知らせる	6	各隊の集会等を見学し、スカウトを激励する	6	各隊の担当団委員を決めて集会を訪問する
			7	他隊との交流・連携を深める	7	他隊との交流・連携を深めるよう支援をする	7	他団の団委員との交流を深める。地区ラリー等には参加する
			8	スカウトの募集を行う	8	スカウトの募集を行う	8	団を挙げてスカウトの募集を行う
			9	隊内すべてのスカウトの入退団を隊として管理し、その加盟登録名簿を作成する	9	団内すべてのスカウト・指導者の入退団を管理し、団の加盟登録について責任を持つ	9	担当者を決めて、団委員長がしっかりと責任を持つ
			10	スカウト一人ひとりの個人記録・進歩記録表を作成する	10	スカウト一人ひとりの個人記録・進歩記録を管理する	10	フォーマットを決め、団の進歩担当が定期的に隊長から情報を得て管理する
			11	一人ひとりのスカウトについてよく知る一学校での行動・活動、学校の予定、地域行事、塾等の事情および家庭環境(家族関係・健康)等	11	一人ひとりのスカウトについてよく知るよう、時に促す。個人情報なので取り扱いには注意	11	特に進級面接時に理解する
			12	各隊は常に会計を整理し、定期的に団会議等に報告する	12	予算・決算等の会計報告を明確に行う	12	各隊の予算・決算等の会計報告を団委員長が目を通す
			13	集会場、備品や夏季野営実施について団会議で十分連絡をとる	13	集会場、備品や夏季野営実施について便宜を図る	13	野営行事担当団委員が中心となって実施する
			14	隊指導者のできないことは、団委員や外部から支援してもらう	14	隊指導者のできないことで相談があったら、支援してあげる	14	隊指導者のできないことで相談があったら、支援してあげる
			15	団内指導者の和を保ち、各隊間の調整を行う。各隊指導者と団委員との連携を深めるための行事を行う	15	団内指導者の和を保ち、各隊間の調整を行う。各隊指導者と団委員との連携を深めるための行事を行う	15	団委員長は隊指導者と団委員との連携を深めるための場を作る

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン			
			No.	隊指導者が実施すること	No.	団委員が実施すること
II ・ スカウト ・ 保護者への間 接的支援	2 隊 ・ 団の運営と 管理 と 管 理	⑤ 団の運営と管理			1 定期的に団委員会・団会議を開催する	1 月1回第2日曜日に団委員会、第3日曜日に団会議を開催する
				2 団委員会・団会議の場所を確保する	2 団委員会・団会議の場所を確保する	
				3 各団委員の任務を明確にし、必要な人数を選任する	3 各団委員の任務を明確にし、それぞれに必要な人数を選任する	
				4 育成団体の代表も団委員に加える	4 育成団体の代表も団委員に加える	
				5 団委員会の議長は団委員長が務める	5 団委員会の議長は団委員長が務める。不在の場合は副団委員長が務める	
				6 団会議の議長は団委員長が務める	6 団会議の議長は団委員長が務める。不在の場合は副団委員長が務める	
				7 団の財産・資産を管理するとともに、運用を行い、健全財政を確保する	7 市の助成を申請するとともに、バザー等を行い、健全財政を確保する	
				8 金銭に対する徴収、出納の専任団委員を置く	8 団委員に会計担当を置く	
				9 育成会やスカウトクラブに地域から支援してもらえる人材を集め、必要に応じて協力してもらう	9 専門的知識を持つ人を確保しておき、必要に応じて依頼する。OBの活用を図る	
				10 他団体や地域との連携を図り、友好関係を保つ	10 行政関係の行事に参加する	
				11 子どもの居場所作りを推進する	11 子どもの居場所作りを推進する	
		⑥ 普及広報活動		1 スカウト運動の主旨の普及に努める	1 地域のお祭りに参加しBSのPRに努める	
				2 マスコミにニュースリリースを配信する	2 市役所の記者会に話しをつけニュースリリースを配信する。ケーブルテレビも活用する	
				3 地域新聞、ミニコミ紙等でスカウト活動をPRする	3 地域新聞、ミニコミ紙等にスカウト活動を連絡し取材を依頼する	
				4 地域の掲示板・公民館や銀行・医院・歯科医院・コンビニ等に以下のものを貼ったり、チラシを置かせてもらう ・連絡先を明示した募集ポスター ・入団案内 ・団報(お知らせ)	4 地域の掲示板・公民館や銀行・医院・歯科医院・コンビニ等に以下のものを貼ったり、チラシを置かせてもらう ・連絡先を明示した募集ポスター ・入団案内 ・団報(お知らせ)	

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			隊指導者が実施すること		団委員が実施すること		我が団の団委員が実施すること	
Ⅱ ・ スカウト ・ 保護者 への 間接的 支援	2 隊・団の 運営と 管理	⑥普及 広報活 動(つづ き)	No.		No.	5 団のホームページを開設する 6 地域の行事などでスカウト活動をパネルや写真など展示する 7 地域の回覧板等に団のお知らせを付けさせてもらいPRする 8 地域の行事に積極的に奉仕したり、参加する 9 地域の公共施設等の定期的な清掃奉仕等を行う 10 「スカウトの日」を地域の人たちにアピールする 11 地域の方々をスカウトの集会や行事に招待する 12 所属する地域の各種団体の役員となって協力する	No.	5 団のホームページを開設する。開設したら定期的に更新する。 6 地域の行事などでスカウト活動をパネルや写真など展示する 7 地域の回覧板等に団のお知らせを付けさせてもらいPRする 8 市や地域の行事に積極的に奉仕したり、参加する 9 ゴミゼロの日に参加する 10 市の行事にスカウトカントリー大作戦を組み込んでもらう。「スカウトの日」を地域の人たちにアピールする 11 地域の方々を団の記念行事や式典に招待する 12 所属する地域の各種団体の役員となって協力する
	3 育成団 体の運 営	① 育 成 団 体	育成団体(育成会)が実施すること					
			No.	1 定期的に育成会員に向けた会合を開催する 2 育成会会計の事務処理を適正に行う。会計監査を必ず置く 3 活動に必要な財源を確保する 4 育成会員の拡充に常に努める 5 育成会員と団委員との連携を密にし、スカウト運動の主旨の普及に努める	No.	1 定期的に育成会総会を開催する。保護者会も開催する 2 会計監査を必ず行う 3 バザーやフリーマーケットの実施により必要な財源を確保する 4 賛助会員を増やすように努める 5 団行事に育成会員に参加してもらう		

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			No	隊指導者が実施すること	No	団委員が実施すること	No	我が団の団委員が実施すること
II ・ スカウト ・ 保護者への 間接的支援	4 外部 部 との 連 携	① 学 校 ・ 幼 稚 園 ・ 保 育 園 との 連 携	1	知人の教職員をスカウト活動に勧誘する 隊の活動や行事に教職員を招待し、スカウト活動の理解と協力を得る 学校長の許可を得て校庭や施設を利用させてもらう 団の要請により学校の野外活動等の支援に協力する 在校生のスカウトの活動状況を報告できるよう協力する	1	総合学習の時間等の活用に協力する	1	総合学習の時間にボーイスカウトの技能を教える
			2		2	教職員であるスカウト関係者をおしていろいろな協力を働きかける	2	教職員であるスカウト関係者をおしていろいろな協力を働きかける
			3		3	知人の教職員をスカウト活動に勧誘する	3	知人の教職員をスカウト活動に勧誘する
			4		4	隊・団の活動状況等の資料をもって担任にスカウト活動の様子を知らせる	4	隊長や園長の許可をとり隊・団の活動状況等の資料をもって担任にスカウト活動の様子を知らせる
			5		5	団の活動や行事に教職員を招待し、スカウト活動の理解と協力を得る	5	団の活動や行事に教職員を招待し、スカウト活動の理解と協力を得る
			6		6	学校長の許可を得て校庭や施設を利用させてもらう	6	学校長の許可を得て校庭や施設を利用させてもらう
			7		7	校内・園内に連絡先を明示したパンフレット・入団申込書の配布やポスターを貼らせてもらう	7	校内・園内に連絡先を明示したパンフレット・入団申込書の配布やポスターを貼らせてもらう
			8		8	学校の人材バンクに登録させてもらう	8	学校の人材バンクに登録させてもらう
			9		9	学校長へPRする	9	学校長へPRする
			10		10	学校の野外活動等を支援する	10	BSで支援できることを学校提示する
			11		11	特に菊や富士章を取得し顕彰を受けたこと等担任や校長に報告する	11	特に菊や富士章を取得し顕彰を受けたこと等担任や校長に報告する
			12		12	空き教室の活用について協力を依頼する	12	空き教室の使用を申し込む
			13		13	学校評議員やPTAの役員に就任し、スカウト活動を広報する	13	学校評議員やPTAの役員に就任し、スカウト活動を広報する
			14		14	PTAの会長と面談し、行事への協力を申し出る	14	PTAの会長と面談し、BSができることを提示し行事への協力を申し出る
			15		15	PTA活動や研修会への支援をする	15	PTAの会長と面談し、BSができることを提示し協力を申し出る

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			No	隊指導者が実施すること	No	団委員が実施すること	No	我が団の団委員が実施すること
Ⅱ ・ スカウト ・ 保護者への 間接的支援	4 外部との 連携	① 学校・幼稚園・ 保育園との連携 (つづき)	16	団の要請によりPTAの会合等でスカウト活動について説明する	16	学校評議員やPTAの会合でスカウト活動について説明する		団内のPTA関係者に依頼する
		② 地域との 連携			1	地域での奉仕活動に参加する(隊・団独自の活動としての奉仕活動も含む)		・カントリー大作戦の実施する。 ・地域の文化祭に参加する。
		③ 行政機関との 連携			2	一般の青少年が参加できる行事を計画的に実施する		・子どもの居場所づくり事業を展開する。 ・公民館の行事に参加する。
				3	地域の公共施設等の定期的な清掃奉仕等を行う		お花見場所の清掃。	
				4	地域の方々と懇談し育成会員等になってもらう		OBや飲み友達を取り込む。	
				5	町内会、奉仕団体や他の青少年団体との関係を密にし行事等に協力する		市の子ども祭りに参加する。	
				6	所属する地域の各種団体の役員となって協力する		NPOの役員となっている。	
				7	地域の主催行事(公民館・自治会等)に積極的に参画していく		地域の文化祭や公民館祭りに参加する。	
				1	スカウト関係者が市町村の社会教育委員等の役職を進んで引き受ける		青少年相談員や社会福祉委員になっている。	
				2	スカウト募集チラシに市町村教育委員会の後援名義をお願いする		地区から依頼している。一度許可を得ると次も得やすい。	
				3	市町村等の補助金等の交付を依頼する		地区で受けている。	
				4	委託事業を積極的に引き受ける		子どもの居場所づくりや外国のホームステイを受けている。	

項目 1	項目 2	項目 3	アクションプラン					
			No	隊指導者が実施すること	No	団委員が実施すること	No	我が団の団委員が実施すること
スカウト・保護者への間接的支援	4 外部との連携	③ 行政機関との連携(つつぎ)			5 市町村の首長に日頃のスカウト活動をPRし、行事や活動の案内等を持参する。 例 菊スカウトや富士章受章スカウトの顕彰をお願いする		地区ラリー等地区の大きな行事には市長・教育長を招待している。 菊スカウトの市長顕彰を毎年行っている。	
				6 教育委員長や教育長と面談し、スカウト運動への理解と協力を要請する		7 公立図書館等へスカウト関係図書・資料を提供する		校長会や教頭会で説明している。
				8 教育委員会を通じて、学校や教職員にスカウト活動への理解の場を設けるよう依頼する		9 青少年育成市町村民会議と連携する		公民館の図書室にも置く。
							校長会や教頭会で説明している。	
		④ 他団体との連携			1 市町村ボランティアセンター(社会福祉協議会内に設置)との関わりをもつ		募金を実施し持ち込む。	
					2 防災活動、交通安全運動など地域での行事に積極的に参加する		防災活動には毎年参加。団で地元警察に依頼し、交通安全講習会を実施する。	
					3 子ども会など関係団体と懇談し、行事等を共催する		子どもまつりに参加。ちびっ子ファミリーフェスティバルを共済する。	
					4 他団体に籍を置くリーダー(CONEなど)を活用する		レクリエーション協会にゲーム指導を依頼する。スケートやカヌーの専門家に指導を依頼地区で連携している。	
					5 ガールスカウト団など関係団体と連携し、行事等を共催する			
					6 関係する各種団体の役員となって協力する		NPOの役員となっている。	